



全日病 S-QUE 看護師特定行為研修

精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

区分別科目



20

演習

(A) 抗けいれん剤の臨時の投与
病態に応じた抗けいれん剤の投与の判断基準
(ペーパーシミュレーションを含む) (2)

永瀬医院 小児科・小児脳神経内科

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野

永瀬 裕朗 氏

小児のてんかん重積状態 ペーパーシミュレーション

永瀬裕朗
永瀬医院

症例： 4歳女児

既往歴：

てんかん（ドラベ症候群）にて抗てんかん薬内服中

現病歴：

外出中15時ごろ自家用車内で全身けいれんを認めた。
熱感あり。手持ちのダイアップを挿肛し、当院へ連絡。
自家用車で直接来院。

Q1:来院までに準備すべき物品を考えてみましょう

※薬物以外の物品も含めて考えてください

病院到着（15時15分）

けいれんは停止していた。

閉眼していて、刺激すると手で振り払おうとする。

15時30分一旦覚醒し、経過観察入院となった。

17時

付き添っている母親より「けいれんしました！」とNsコールあり。

訪室すると、開眼し、顔・眼球は右上方を向き、右上肢を伸展、左上肢を屈曲、硬直させていた。

Q2:発作型はどうですか？

思い出そう！

講義では、『**発作の型を確認する**』という事項があった

手順書：抗けいれん剤の臨時投与

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

1. てんかん（症候性含む）と診断確定している患者で、
2. **持続するてんかん発作が重積している場合**



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

以下のいずれもあてはまる

- 低血糖が除外されている
- 心臓性失神が除外されている
- 血圧降下剤、徐脈誘発薬剤が、最近2週間以内に追加されていない**
- 静脈確保および静脈内薬液投与が可能な状態である**
- ロジアゼパムのアレルギーがない
- 治療中の急性狭隅角緑内障がない
- 治療中の重症筋無力症ではない
- ロリナビル（HIV感染症治療薬）投与中でない**
- 発作の型（けいれん性てんかん重積状態である）**



病状の
範囲外

あてはまらないものが
あれば、担当医師の
携帯電話に直接連絡

病状の
範囲内



訪室後

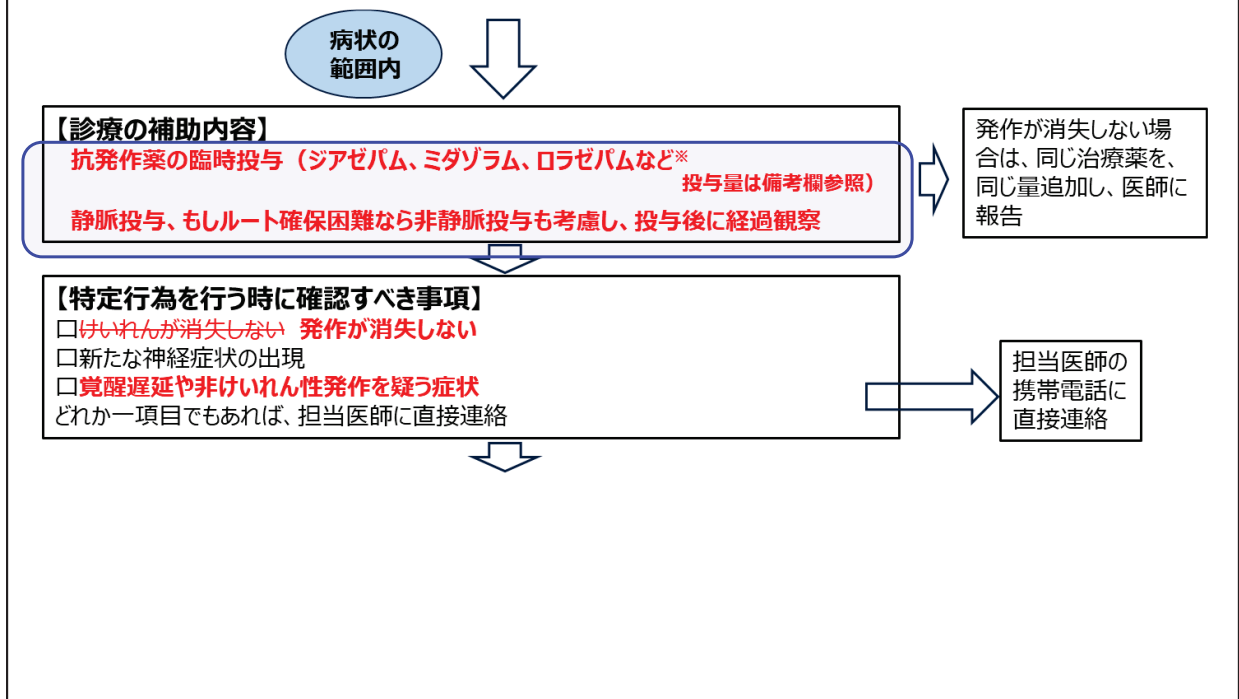
眼球上転, 口唇チアノーゼ, 四肢強直

先週, 保育園で体重13kgとの情報

Q3: 静脈路の確保が困難です.

- ① どのような薬剤を
- ② どのような経路で
投与しますか？

思い出そう！ 講義では、『**投与経路**』に関する事項があった

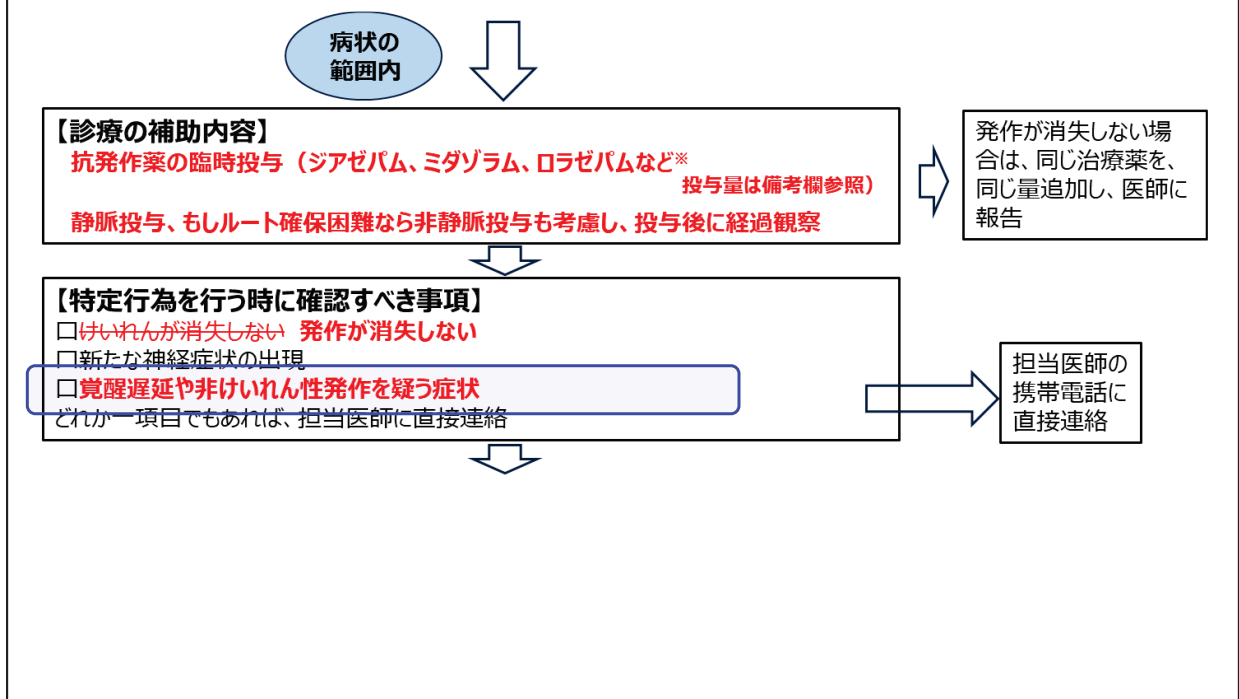


17時05分：

ミダゾラム頬粘膜投与を行った。
発作は10分で停止したが、その後入眠した。

Q4:このあと何を観察しますか？

思い出そう！
講義では、『**特定行為時の確認事項**』があった



19時（発症後4時間）

入眠中であったため、
痛み刺激を加えてみると開眼した。

その後名前を確認しようとする「帰るー」と言って
興奮し、手足をばたつかせ、制止を振り払おうとした。

Q5:意識レベルはどうですか？

思い出そう！

講義では、『**覚醒状況の確認**』に関する事項があった

